

リケンテクノス株式会社

2022年3月期上期
(2022年3月期 第2四半期)

決算説明会

2021年11月11日

目 次

- 決算概要
- セグメント別概況
- 3カ年中長期経営計画進捗



決算概要



2022年3月期上期 連結業績サマリー

単位：百万円、円

科 目	2022年 3月期上期	2021年 3月期上期	前年同期比	増 減 率	2022年 3月期上期 業績予想
売 上 高	50,965	40,589	+10,376	+25.6%	50,000
売上総利益	9,064	7,242	+1,822	+25.2%	-
営業利益	3,076	1,672	+1,404	+83.9%	2,300
経常利益	3,307	1,737	+1,570	+90.4%	2,300
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,137	811	+1,326	+163.3%	1,300
1株当り利益	33.90	12.87	+21.03	+163.4%	20.62
R O S	6.0%	4.1%	+1.9%	-	4.6%

※売上高及び各段階利益は過去最高。

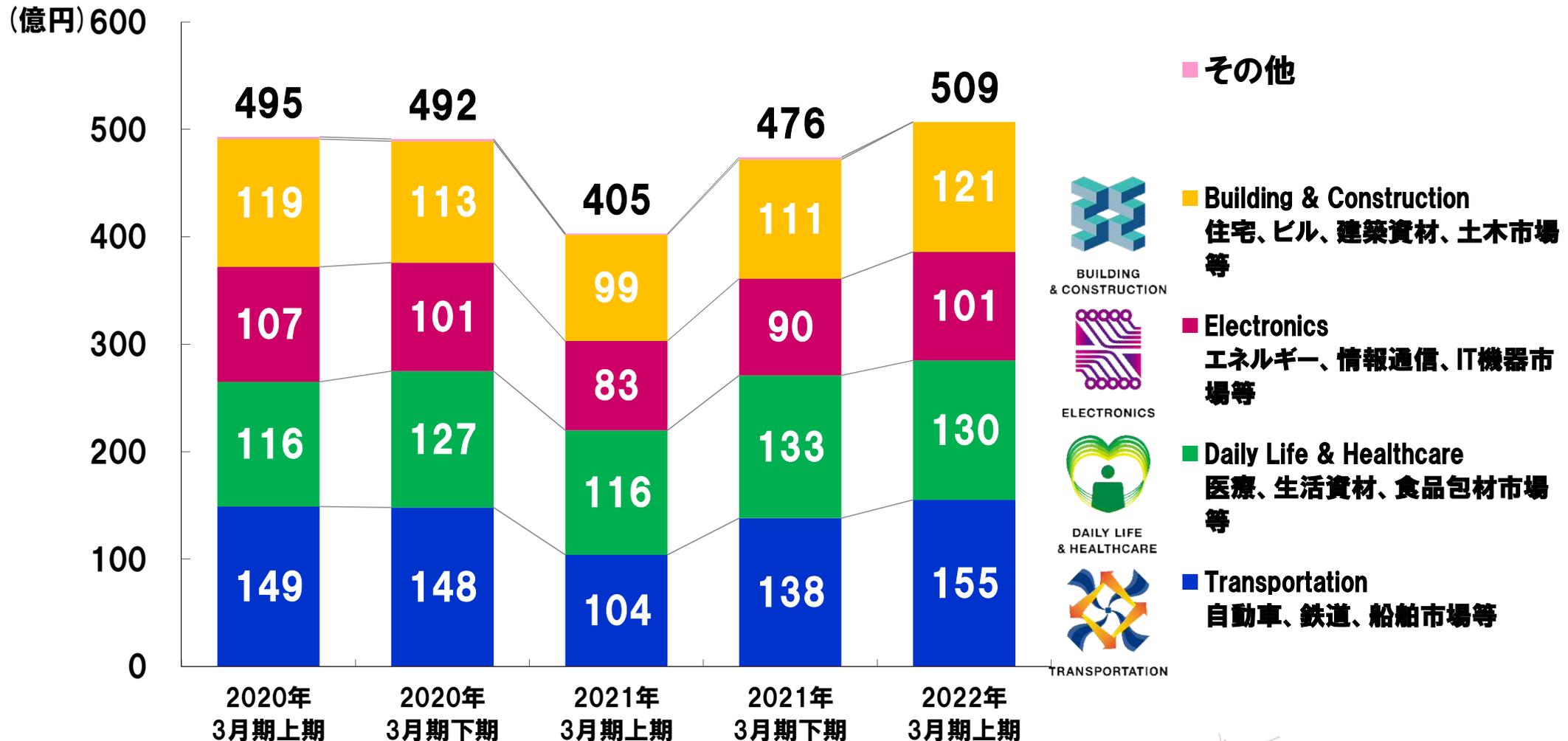


セグメント別売上高推移

2022年3月期上期 売上高

509億円

前年同期比 103億円増(25.6%増)

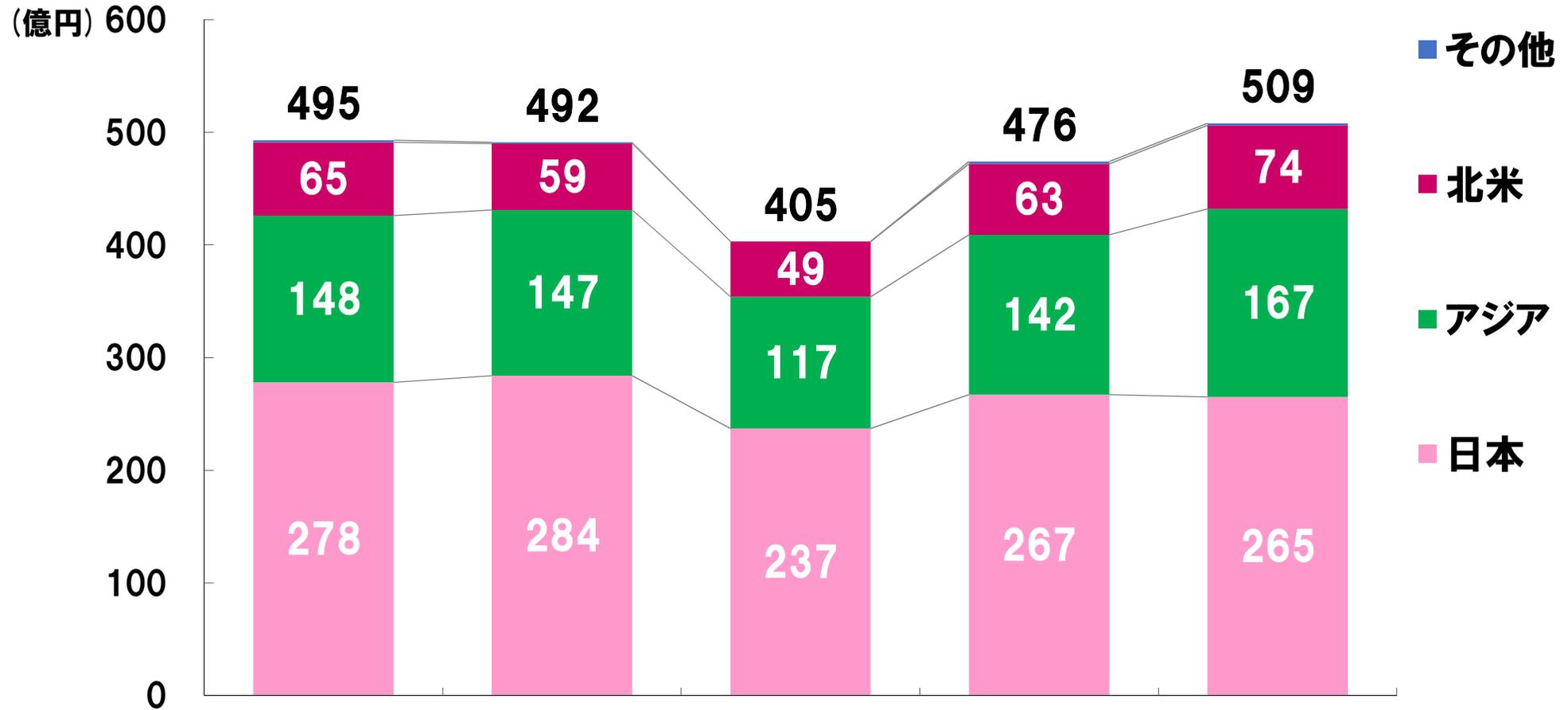


地域別売上高推移

2022年3月期上期 売上高

509億円

前年同期比 103億円増(25.6%増)



海外
売上高比率

2020年
3月期上期
43.7%

2020年
3月期下期
42.2%

2021年
3月期上期
41.4%

2021年
3月期下期
43.8%

2022年
3月期上期
48.0%

RIKEN TECHNOS CORP.

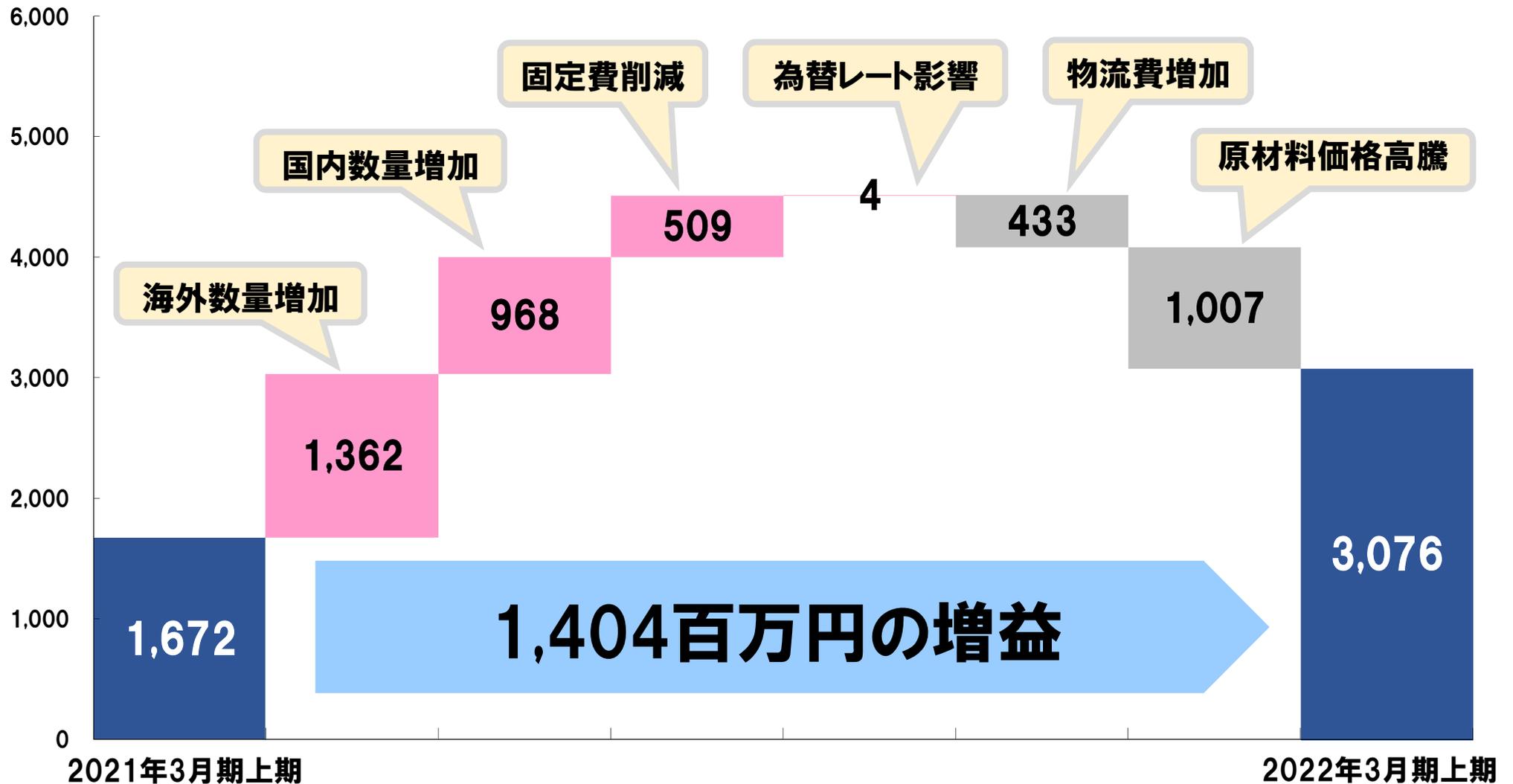
すべての生活空間に快適さを提供するリーディングカンパニーを目指して



MORE VALUE
TO ALL 2021

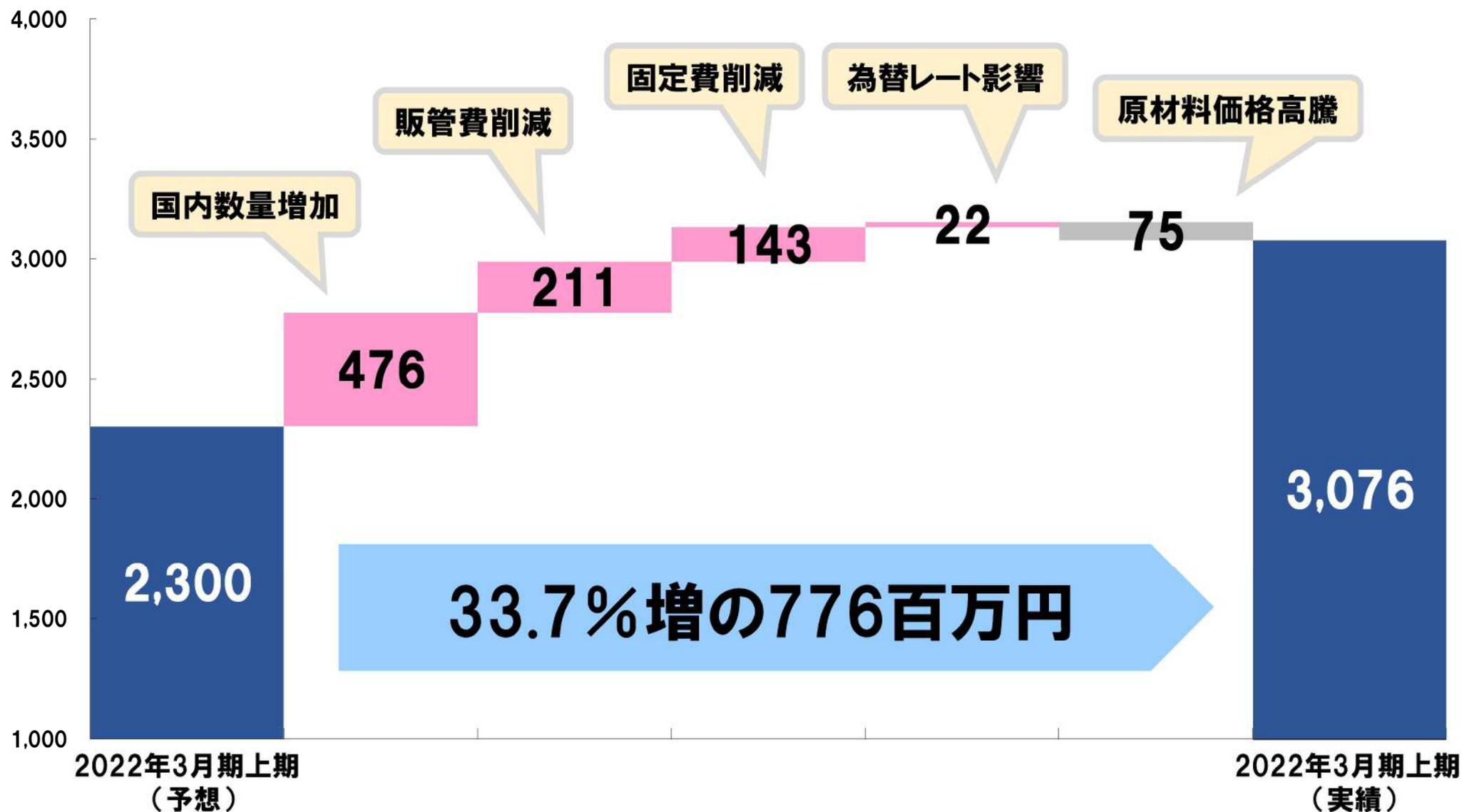
営業利益 前期比 増減要因分析

単位:百万円



営業利益 業績予想比 増減要因分析

単位:百万円



連結貸借対照表 キャッシュ・フロー計算書

連結貸借対照表

資産合計

99,881百万円

前期末比 4,672百万円増

流動資産 62,327百万円

固定資産 37,553百万円

負債合計

36,754百万円

前期末比 2,622百万円増

純資産合計

63,127百万円

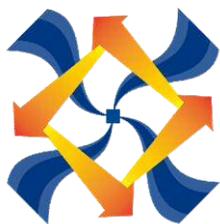
前期末比 2,050百万円増

キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

	当期	前年同期比
営業 C F	1,915	▲2,395
投資 C F	▲1,072	+870
財務 C F	▲1,532	+33
増減額	▲441	▲1,046
期末残高	20,639	+2,222

セグメント別概況



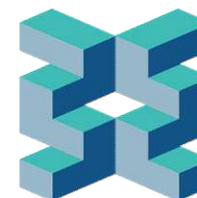
TRANSPORTATION



DAILY LIFE
& HEALTHCARE



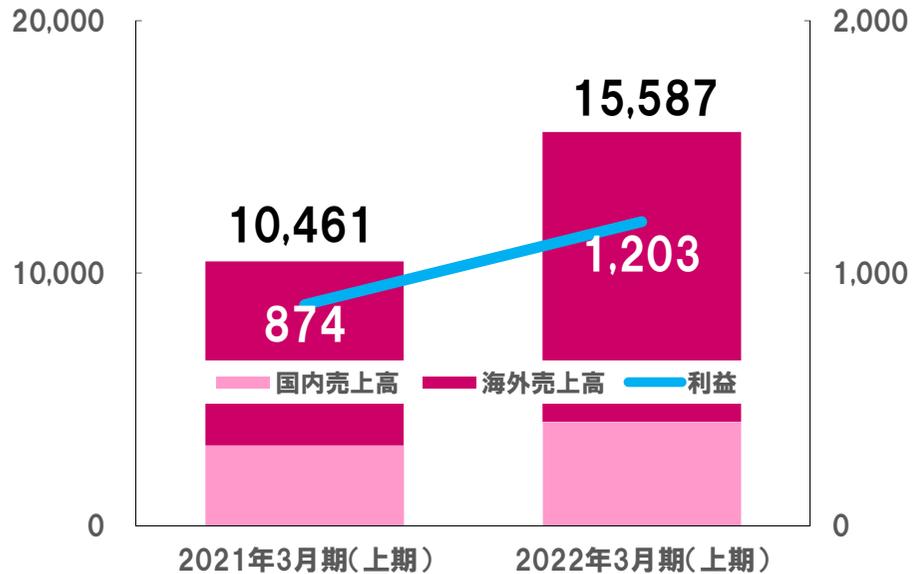
ELECTRONICS



BUILDING
& CONSTRUCTION

I Transportation (TR)

(単位:百万円)



2022年3月期上期実績

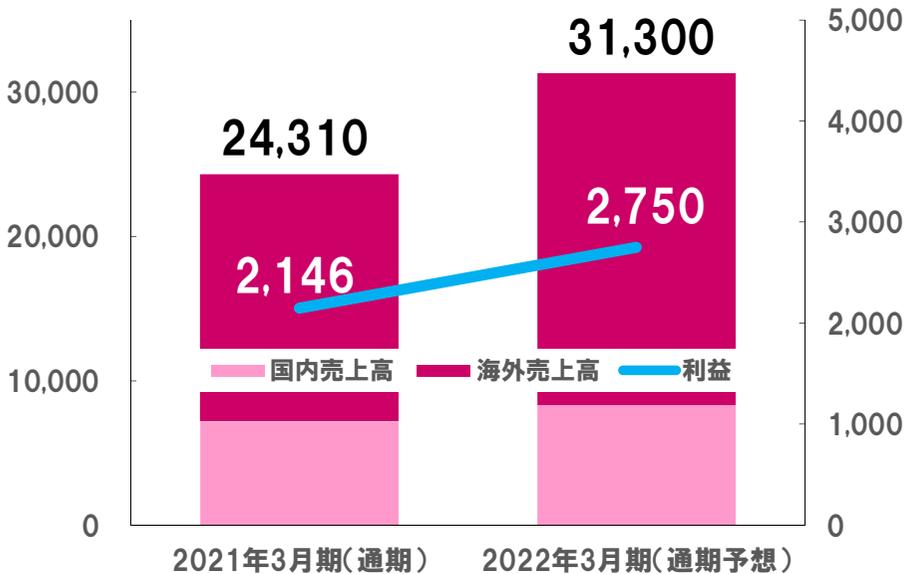
5,125百万円増収

329百万円増益

前年同期比49.0%増

前年同期比37.7%増

- 国内では、自動車生産台数が前年比104%に伸長した影響から同市場へのコンパウンドの販売が増加し、増収。
- 海外では、自動車生産台数が前年比139%に伸長した影響から同市場へのコンパウンドの販売が増加し、増収。
- セグメント利益は市況の回復による国内・海外販売の増加により、増益。



2022年3月期業績予想

6,990百万円増収

604百万円増益

前期比28.8%増

前期比28.1%増

- 国内は、自動車生産台数は前期並みの見込み。
- 機能・シール部材用エラストマーコンパウンドの拡販により数量増加。
- 海外では、自動車生産台数は前期比109%に伸長。
- 電装用(ワイヤーハーネス)・自動車、2輪成型用コンパウンドの拡販により数量増加。

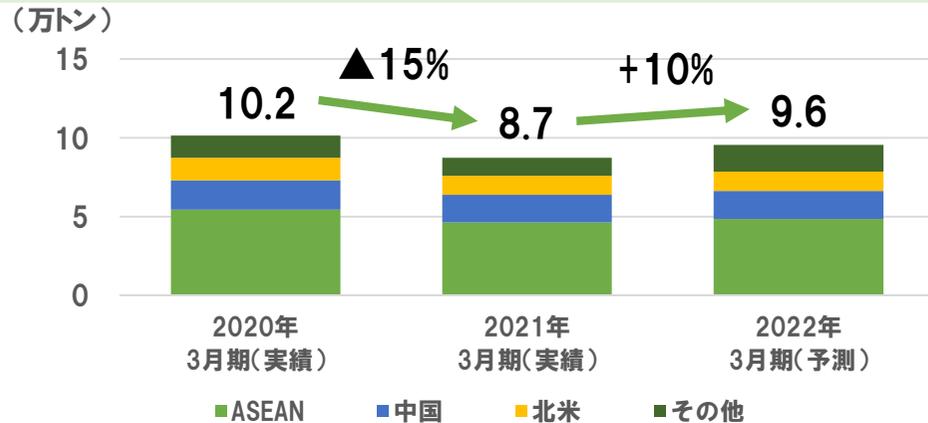


I Transportation (TR)

重点分野① 自動車用電装(ワイヤーハーネス)

市場動向(予測)

日系ワイヤーハーネスメーカー地域別コンパウンド使用量 当社調べ



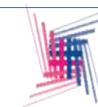
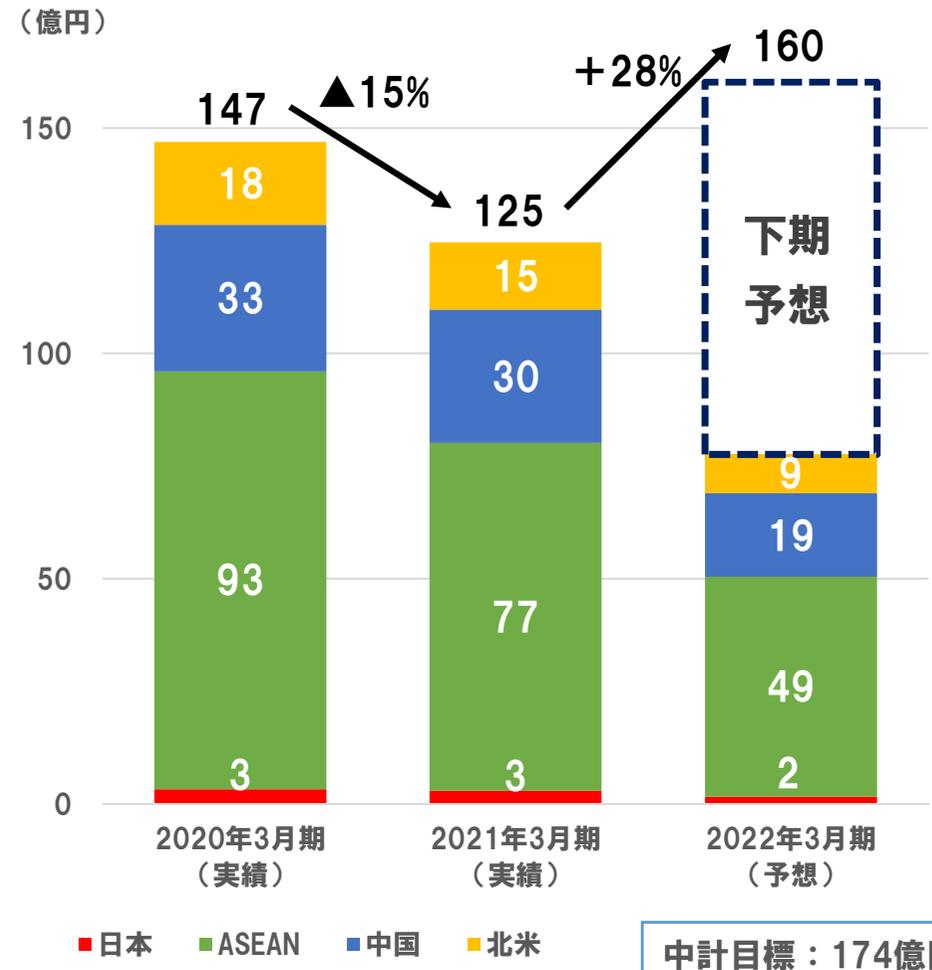
2022年3月期 上期実績

- 日系自動車メーカーの全世界生産台数は、新型コロナウイルス感染拡大の影響からは回復。その結果、ワイヤーハーネス用コンパウンドの販売も増加し増収。

2022年3月期 通期施策

- 日系自動車メーカーの全世界生産台数は回復傾向のため、受注を確実に取込む。
- ASEAN・中国での拡販。

自動車電装用コンパウンド売上高



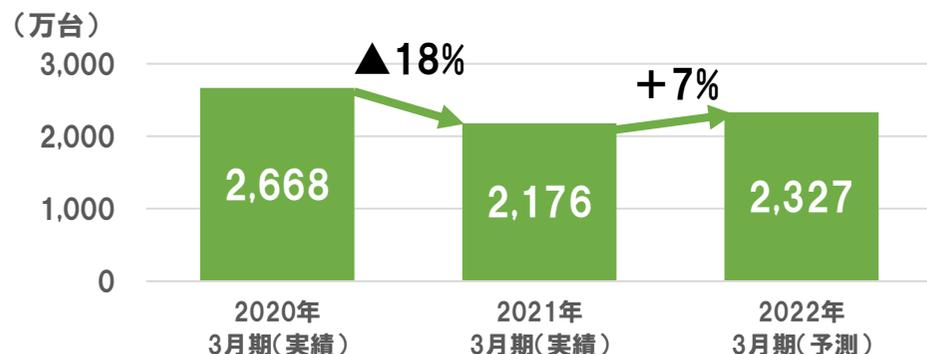
I Transportation (TR)

重点分野② 自動車用成型部材

市場動向 (予測)

日系自動車生産台数

当社調べ



2022年3月期 上期実績

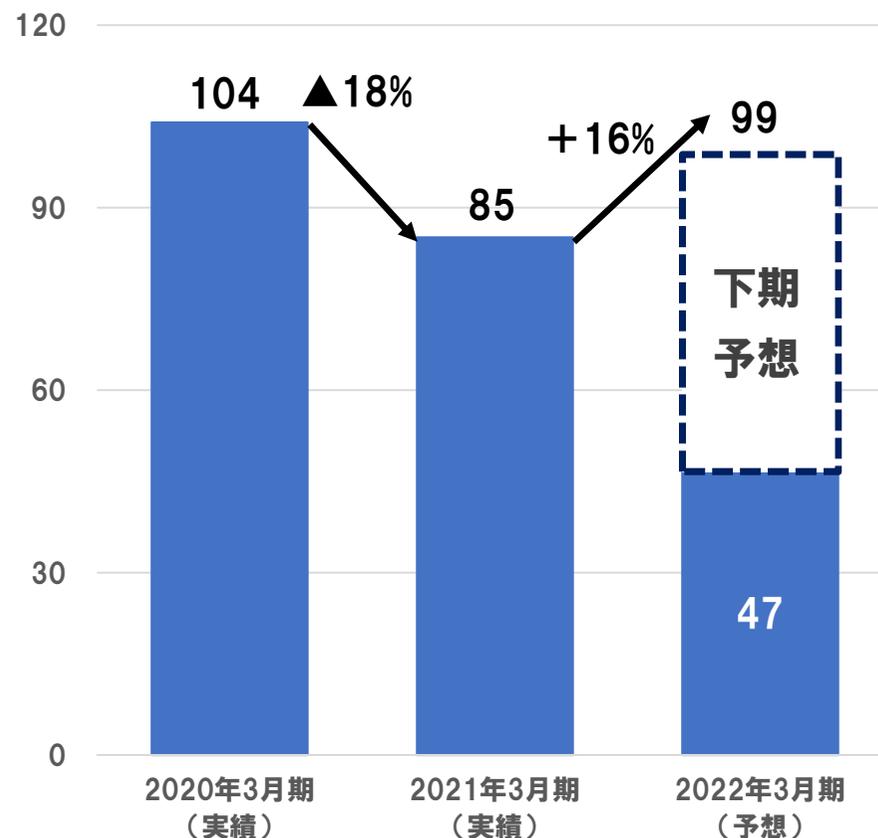
- ・日系自動車メーカーの全世界生産台数は新型コロナウイルス感染症拡大の影響から回復。その結果自動車用成型部材用コンパウンドの販売も増加。

2022年3月期 通期施策

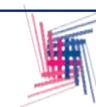
- ・日系自動車メーカーの全世界販売台数は回復傾向のため、受注を確実に取込む。
- ・新規採用が進むシール部材・機能部材の海外顧客への展開を継続。

自動車内外装コンパウンド売上高

(億円)



中計目標：124億円



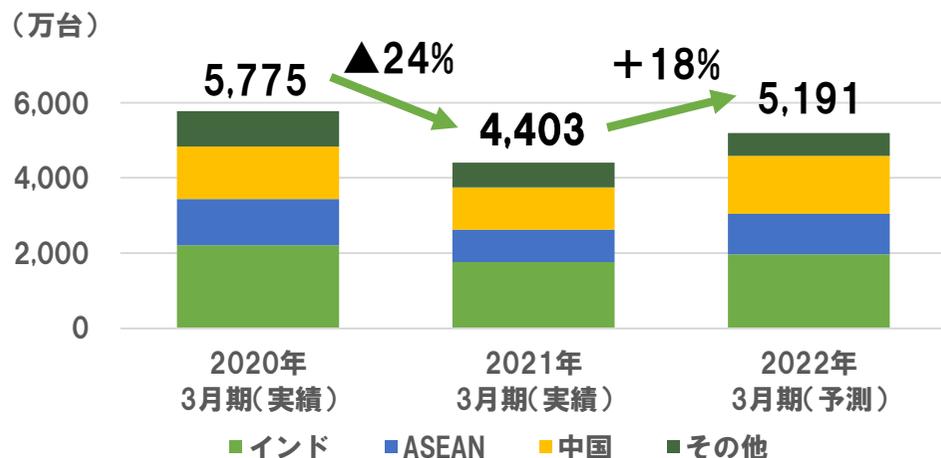
I Transportation (TR)

重点分野③ 2輪車用部材

市場動向 (予測)

2輪車生産台数

当社調べ



2022年3月期 上期実績

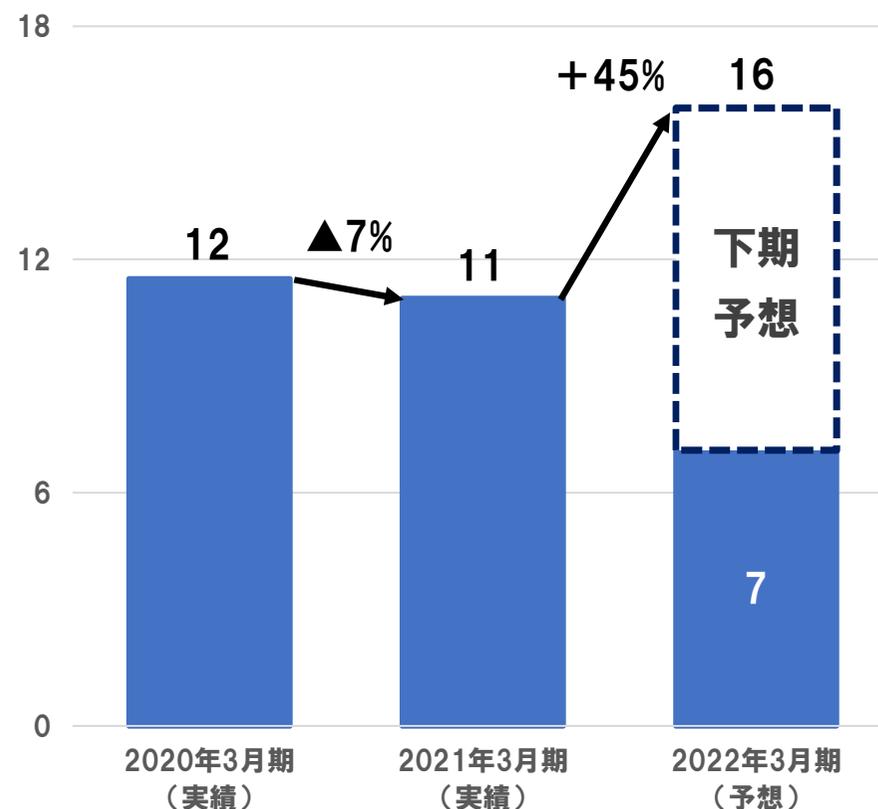
- ベトナム、インドネシア、タイなどにて2輪車生産が回復。その結果、2輪車用成形部材用コンパウンドの販売も増加。

2022年3月期 通期施策

- ASEAN、特にベトナムにおいて、拠点を活用し拡販を強く進め、ASEAN地域で70%のシェア獲得を目指す。

2輪車用部材コンパウンド売上高

(億円)

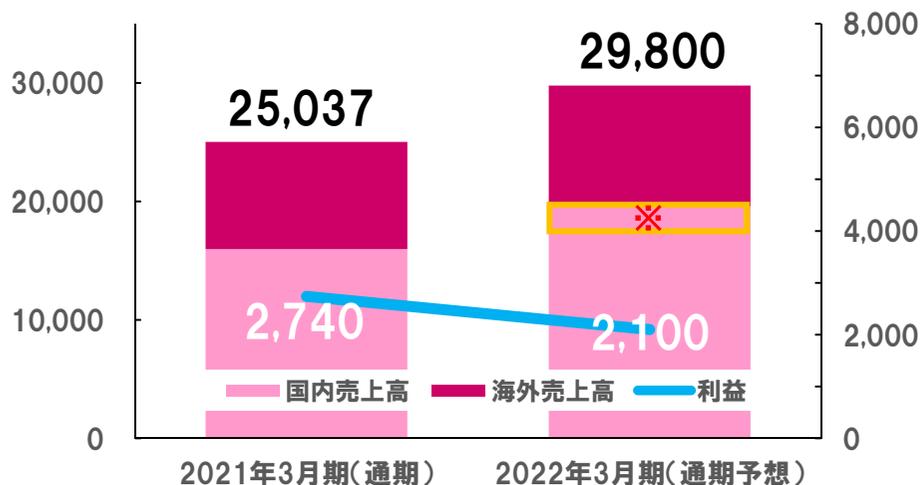
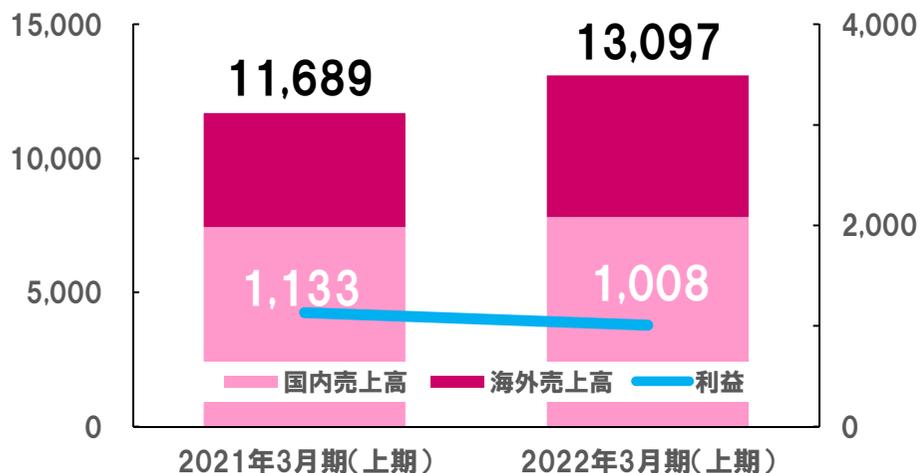


中計目標：14億円



Ⅱ Daily Life & Healthcare (DH)

(単位:百万円)



※2022年3月期(予想)には、連結子会社の吸収合併に伴い、合併後にリケンテクノスで計上される、リケンファプロ分の2022年1～3月の3ヵ月分の売上が含まれております。

2022年3月期上期実績

1,408百万円増収

125百万円減益

前年同期比12.0%増

前年同期比11.1%減

- 国内では、生活資材市場の塩ビコンパウンド、フィルム及び食品包材市場の業務用ラップの拡販が進み、増収。
- 海外では、新型コロナウイルス感染症の影響によりASEAN顧客の稼働が低下し販売減も、生活資材市場向け塩ビコンパウンドの拡販が進み、全体として増収。
- セグメント利益は、原材料価格の高騰により、減益。

2022年3月期 業績予想

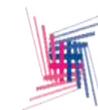
4,763百万円増収

640百万円減益

前期比19.0%増

前期比23.4%減

- 国内では、医療市場向け高機能エラストマーコンパウンドの拡販。食品包材では引き続き新型コロナウイルス感染症による内食需要の取り込みによる業務用ラップ拡販及び家庭用量販店向け小巻ラップの拡販。
- 海外は、ASEANを中心に塩ビコンパウンドの拡販。
- セグメント利益は、原材料価格の高騰により、減益。



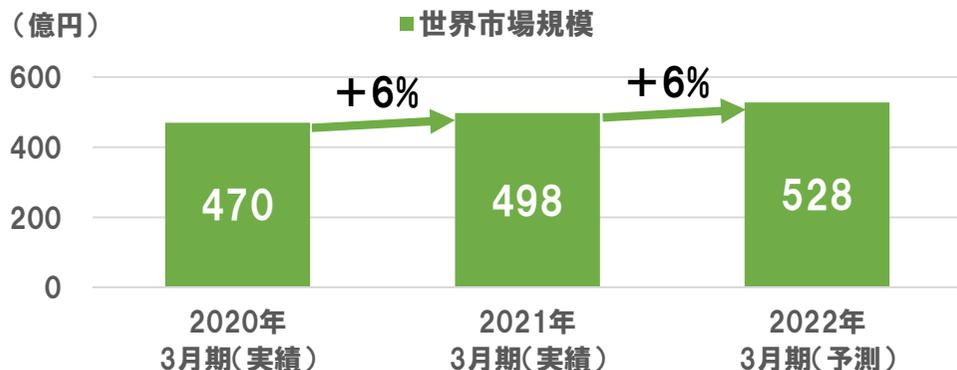
Ⅱ Daily Life & Healthcare (DH)

重点分野① 医療用

市場動向 (予測)

医療用透析回路材料市場

当社調べ



2022年3月期 上期実績

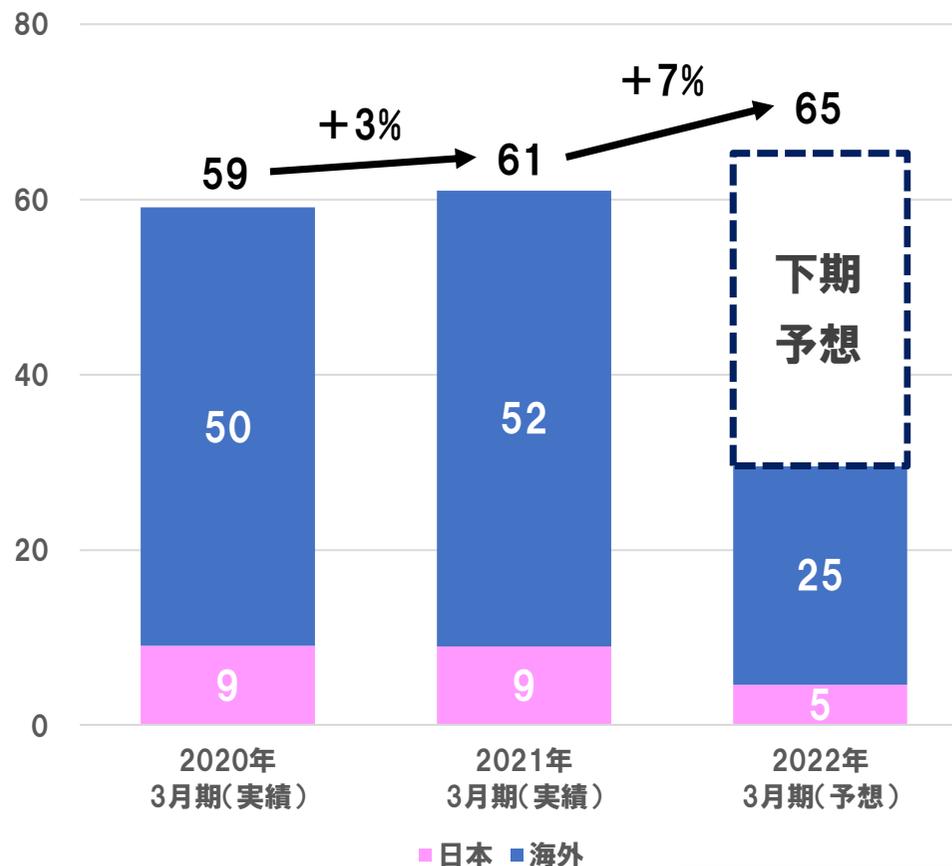
- 国内では、新規に高機能エラストマーコンパウンドの拡販が進むも新型コロナウイルス感染症により通院患者数が減少し、売上は横這い。
- 海外では、新型コロナウイルス感染症の影響によりASEAN顧客の稼働が低下し、販売減。

2022年3月期 通期施策

- 国内では、高機能エラストマーコンパウンドの拡販を進める。
- 海外では、ASEANで日系顧客への塩ビコンパウンド拡販及び非日系顧客への拡販を進める。

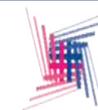
医療用コンパウンド・フィルム売上高

(億円)



下期
予想

中計目標：71億円

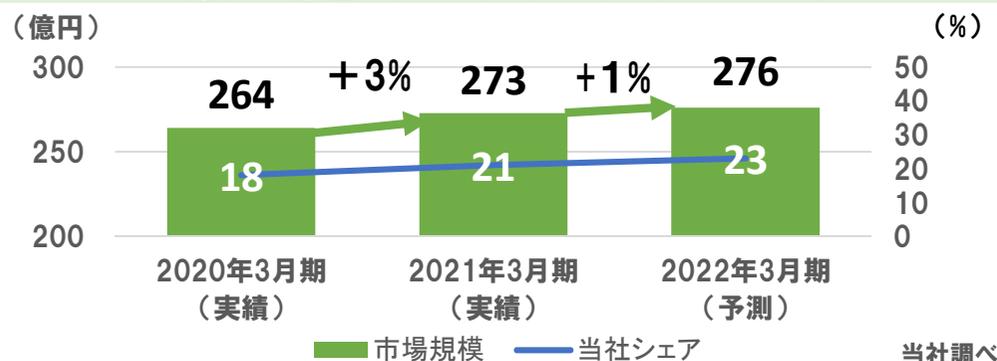


Ⅱ Daily Life & Healthcare (DH)

重点分野② 食品包材

市場動向 (予測)

日本の業務用ラップ市場 (食品用途ストレッチ・シュリンクフィルム)



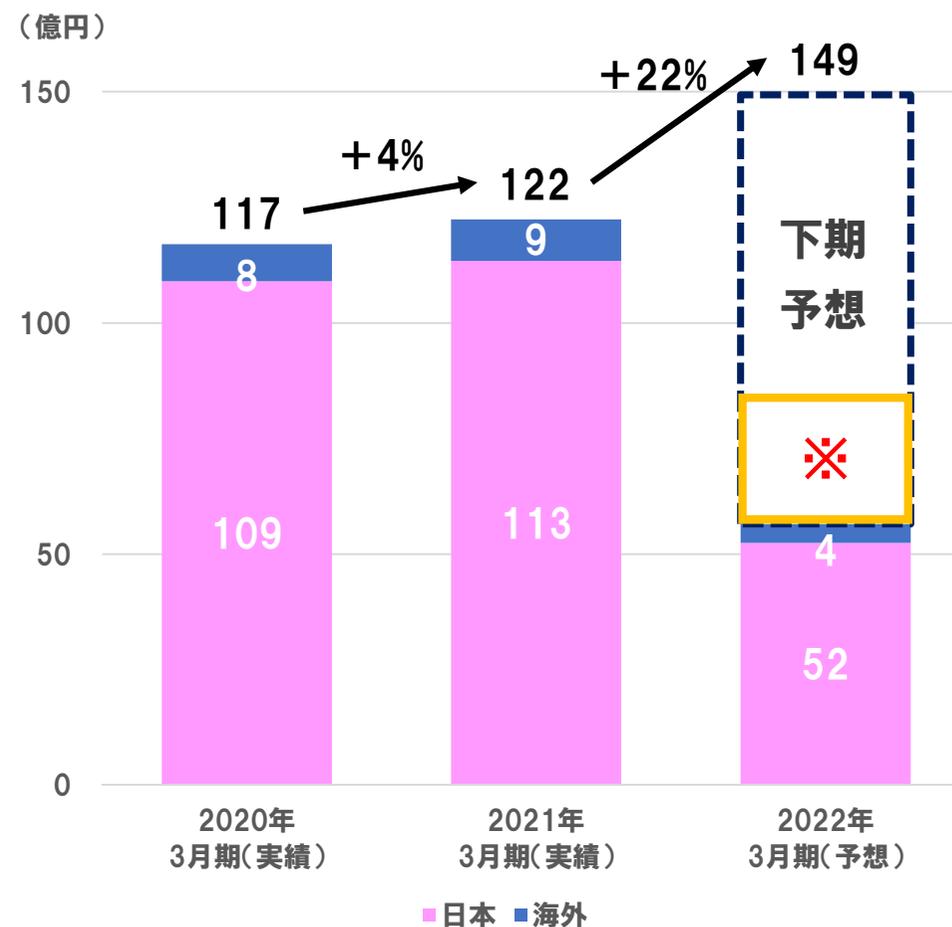
2022年3月期 上期実績

- ・業務用ラップは、新型コロナウイルス感染症による内食需要を取り込み増収。
- ・小巻ラップは、家庭用量販店向けは堅調に推移したが、新型コロナウイルス感染症により、外食産業向けが減収。

2022年3月期 通期施策

- ・業務用ラップは、スーパー向けに拡販。
- ・小巻ラップは、家庭用量販店への新規拡販と、新規販路を開拓し拡販。

食品包材売上高

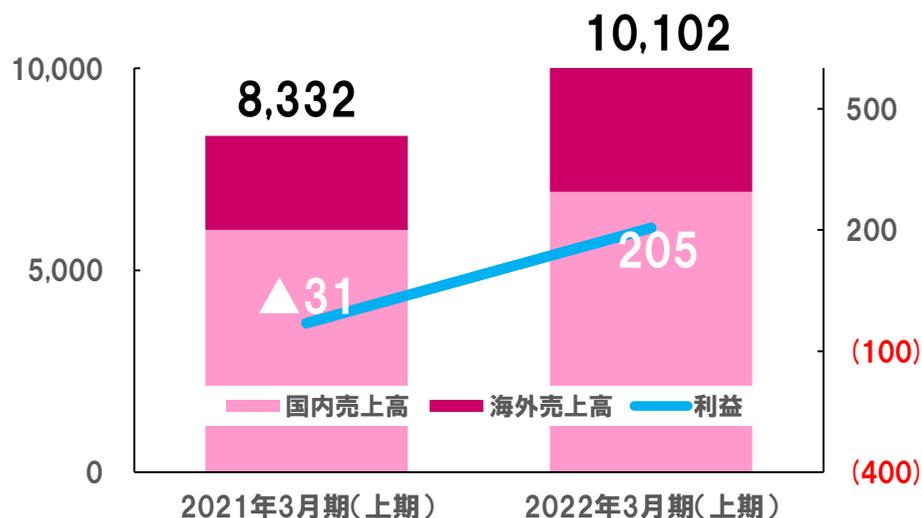


中計目標：130億円



Ⅲ Electronics (EL)

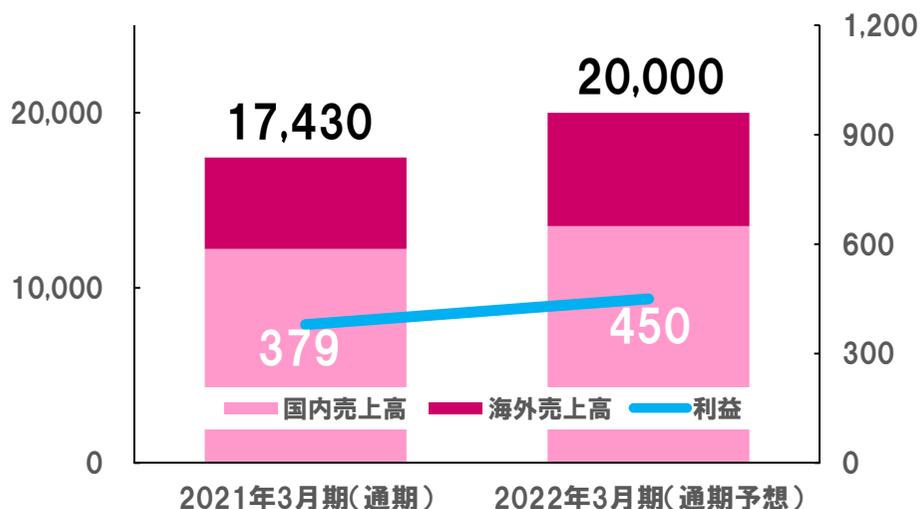
(単位:百万円)



2022年3月期上期実績

1,770 百万円増収	237 百万円増益
前年同期比21.3%増	前年同期比 -

- 国内では、新型コロナウイルス感染症の影響から回復傾向にある情報通信・エネルギー市場の塩ビコンパウンドの拡販が進み、増収。
- 海外では、米国・タイ及び中国での塩ビコンパウンドの販売が増加、半導体用フィルムの販売も成長し、増収。
- セグメント利益は、販売の増加により黒字化。



2022年3月期業績予想

2,570 百万円増収	71 百万円増益
前期比14.7%増	前期比18.9%増

- 国内では、エネルギー市場の需要回復を捉え、塩ビコンパウンドの販売拡大により増収を狙う。さらに、情報通信・ロボット・FAケーブル市場の需要増加を捉え、塩ビコンパウンドを拡販。
- 海外では、米国および中国での情報通信・エネルギー市場の需要増加を捉え塩ビコンパウンドを拡販、半導体用フィルムも新規開拓が順調に進む見込み。



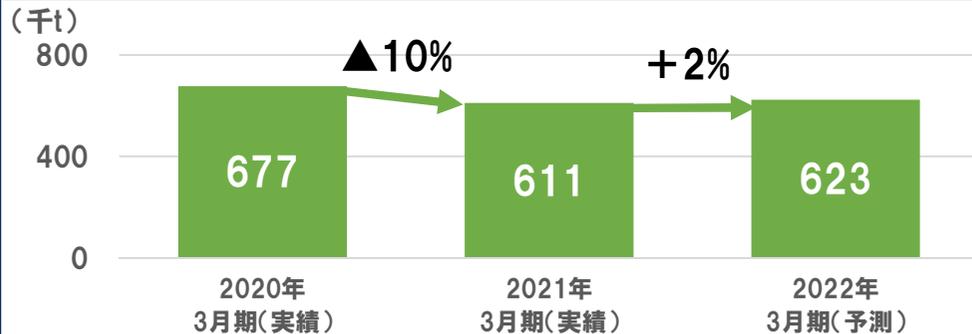
III Electronics (EL)

重点分野① 電力・通信インフラ

市場動向(予測)

国内電線の銅使用量

出典: 日本電線工業会



2022年3月期 上期実績

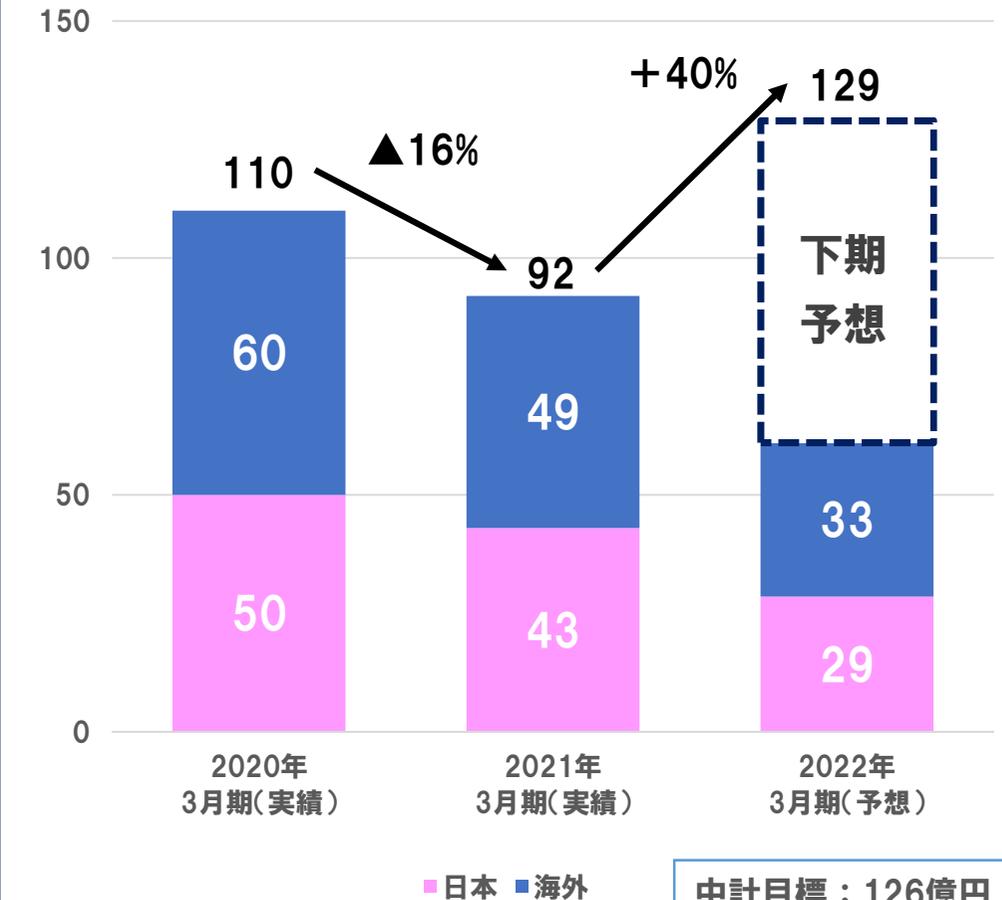
- 国内では、エネルギー市場の回復基調に対し、顧客への合理化提案による塩ビコンパウンドの拡販が進み、増収。
- 海外では、タイにおける新規顧客拡販が進み、塩ビコンパウンドの販売が増加し、増収。

2022年3月期 通期施策

- 国内では、情報通信・エネルギー市場の回復基調の需要を確実に捉え、顧客への合理化提案を継続し、塩ビコンパウンドの販売拡大。
- 海外では、ASEAN及び北米エネルギー市場での塩ビコンパウンドの拡販。

電線用コンパウンド売上高

(億円)



Ⅲ Electronics (EL)

重点分野② 光学フィルム

市場動向 (予測)

モバイル市場

当社調べ



非モバイル市場(車載EV・産業)

当社調べ



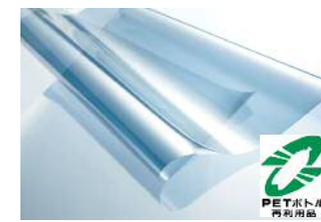
2022年3月期 上期実績

- 大型モバイル案件及びリケガード需要の減少により、減収。
- 自動車用遮熱フィルムがASEANで採用拡大。
- 樹脂窓の高耐候フィルム及び光学リサイクルフィルムの開発着手。

2022年3月期 通期施策

- 自動車用遮熱フィルムの海外拡販・深耕。
- 各種光学リサイクルフィルム製品の採用に向けた活動。

採用実績および用途例



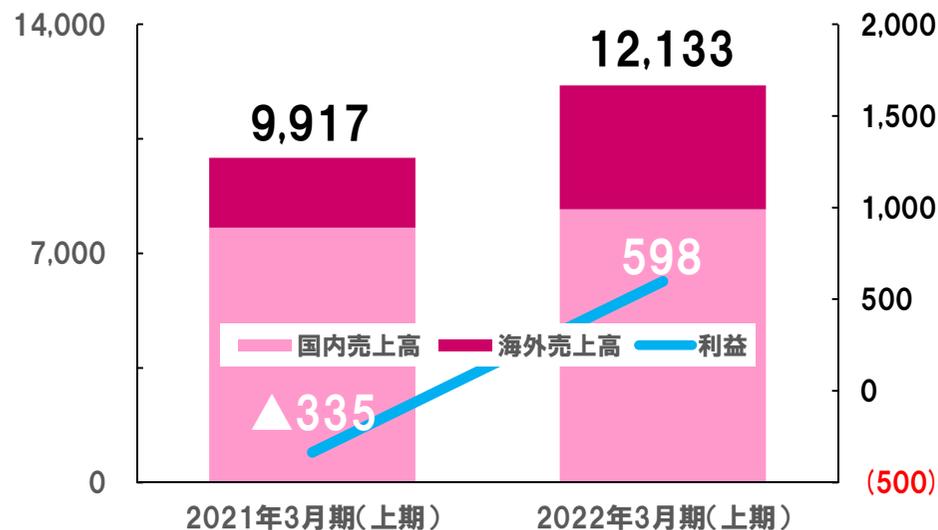
光学フィルム売上高



中計目標：32億円

IV Building & Construction (BC)

(単位:百万円)



2022年3月期上期実績

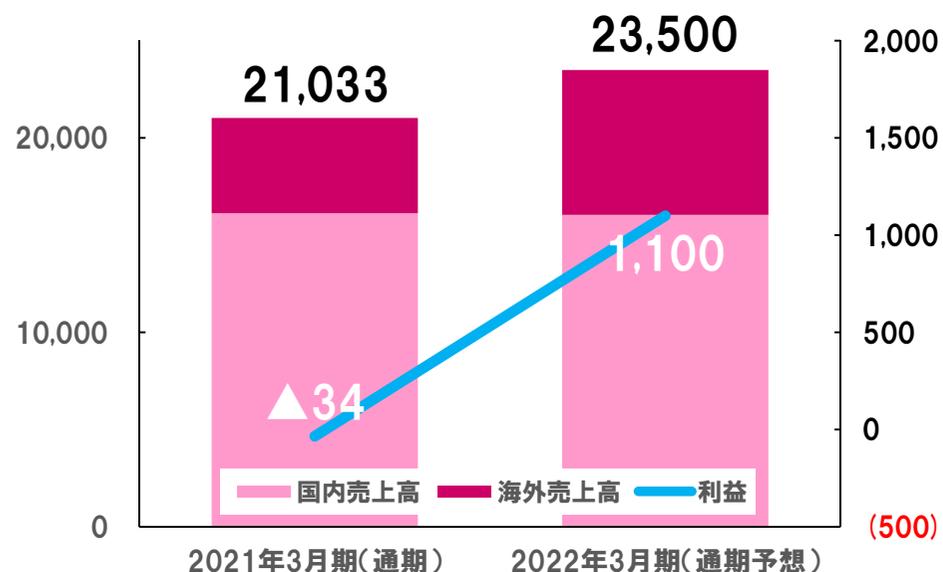
2,215百万円増収

934百万円増益

前年同期比22.3%増

前年同期比 -

- 国内では、新型コロナウイルス感染症の影響から市況は回復傾向にあり、住宅市場・非住宅市場へのコンパウンド・フィルムの拡販も進み、増収増益。
- 海外では、米国の景気回復により住宅市場が好調に推移し、コンパウンド・フィルムの拡販も進み、増収増益。



2022年3月期業績予想

2,467百万円増収

1,134百万円増益

前期比11.7%増

前期比 -

- 国内では、市場の回復基調を確実に捉え、新意匠、高機能のインテリアフィルム及び硬質塩ビコンパウンドの拡販により増収増益。
- 海外では、新意匠フィルムの拡販及びタイを中心としたASEANでのコンパウンド拡販により増収増益。

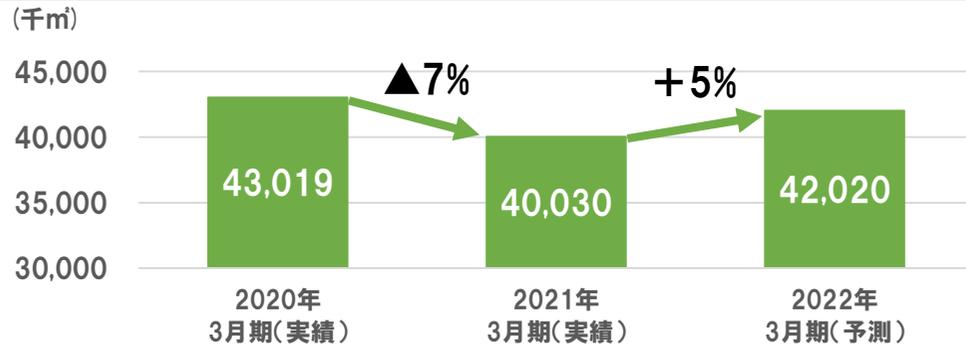


IV Building & Construction (BC)

重点分野① インテリア

市場動向 (予測)

国内非住宅着工床面積 (建設経済研究所)



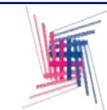
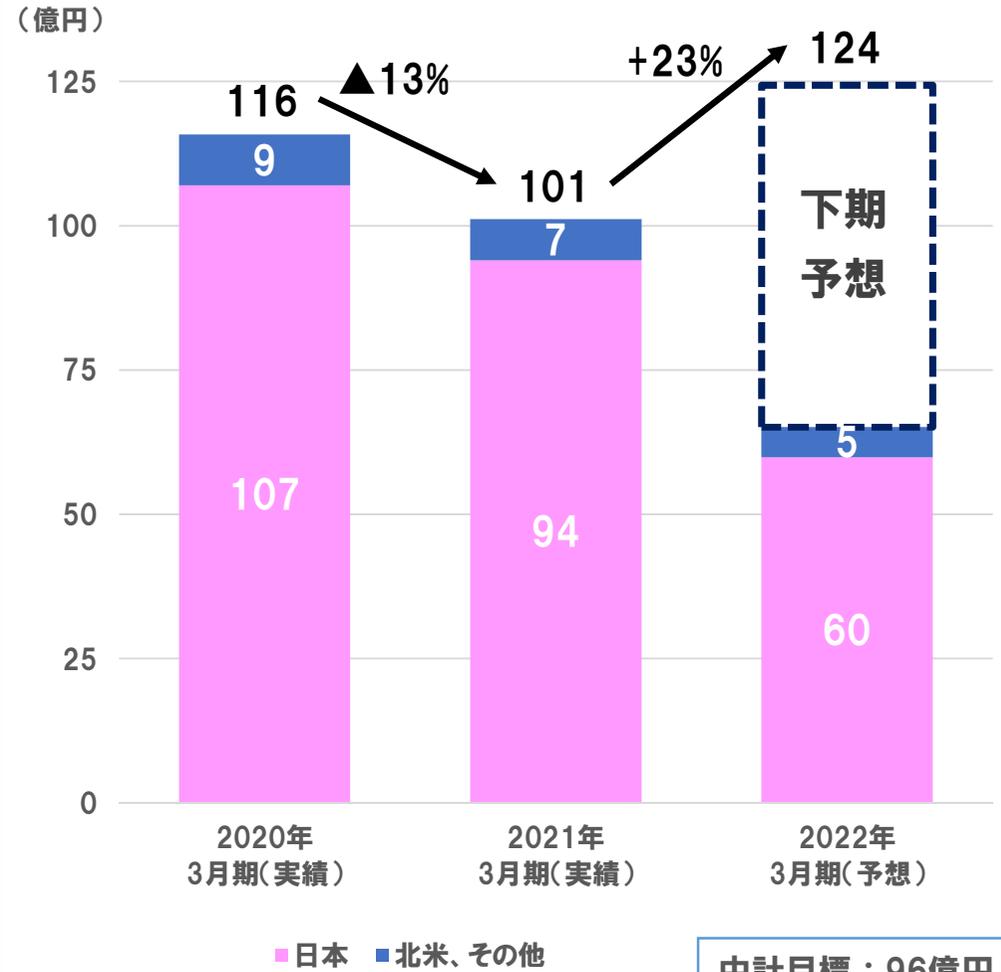
2022年3月期 上期実績

- 国内では、市況回復傾向の中、非住宅市場で新意匠・高機能製品を拡販。また品質による差別化で浴室市場向け製品を拡販。
- 海外では、市況回復傾向の中、新意匠製品を拡販。

2022年3月期 通期施策

- 国内では、非住宅市場で新意匠・高機能製品の拡販。次期に向けて、新意匠製品の提案及び投入を進める。
- 海外では、国内市場で開発した新意匠製品を拡販。

インテリアフィルム売上高



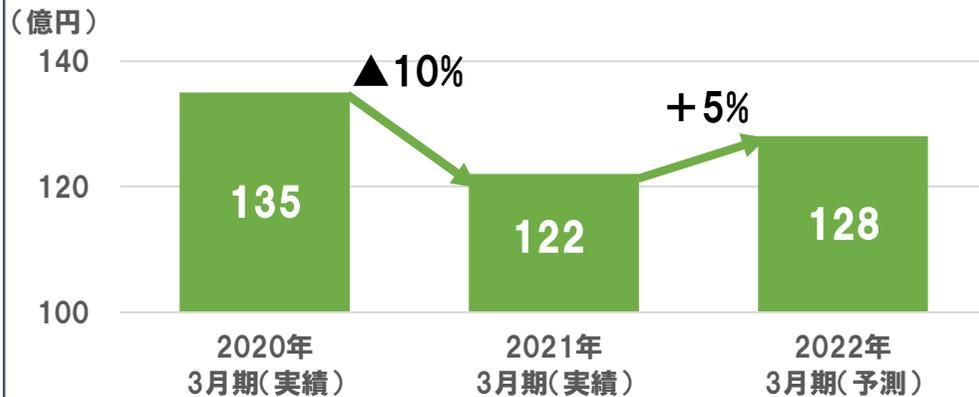
IV Building & Construction (BC)

重点分野② 住宅・建築資材

市場動向 (予測)

日本の住宅・建築資材コンパウンド

当社調べ



2022年3月期 上期実績

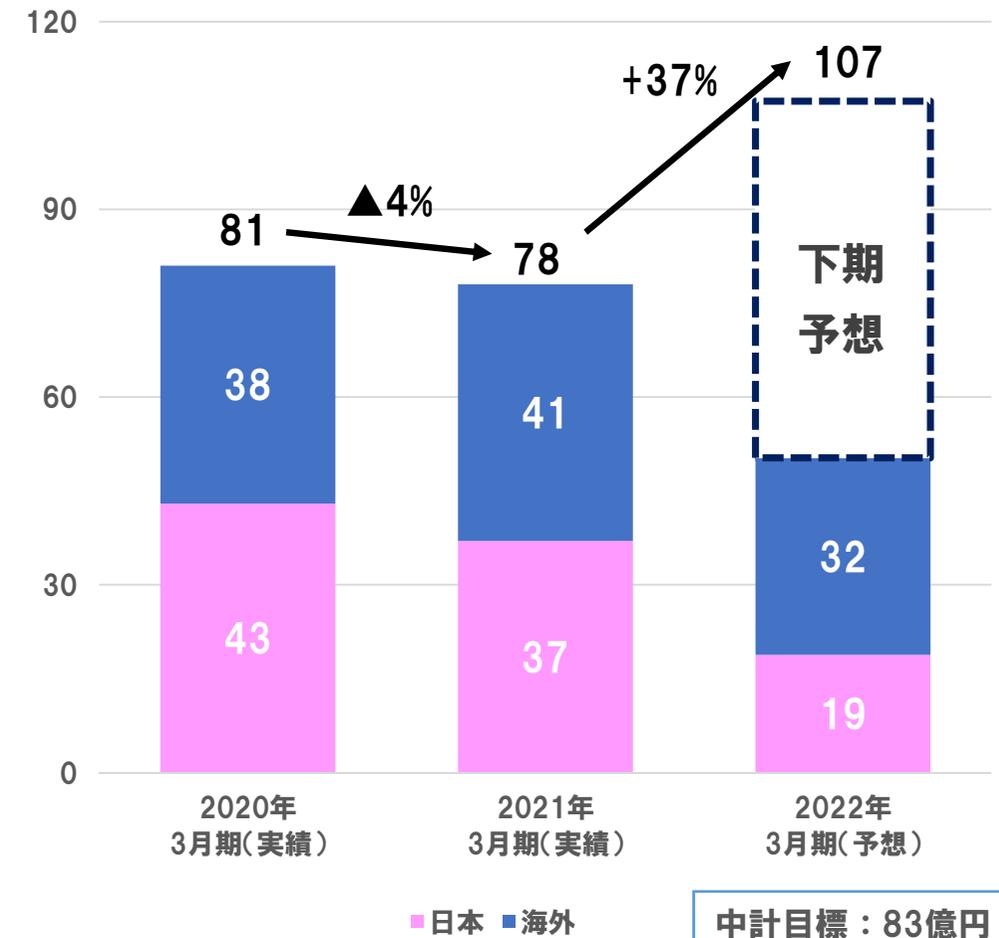
- 国内では、住宅・建設資材市場は前年下期からの緩やかな回復を捉え、塩ビコンパウンドを拡販。
- 海外では、米国住宅市場の需要拡大とASEANでの塩ビコンパウンドの拡販により増収。

2022年3月期 通期施策

- 国内では、住宅市場での需要回復と、新規材料の拡販により増収。
- 海外では、米国および前年度事業譲受を行ったタイを中心に非日系顧客へのアプローチを強め、新規分野を開拓。

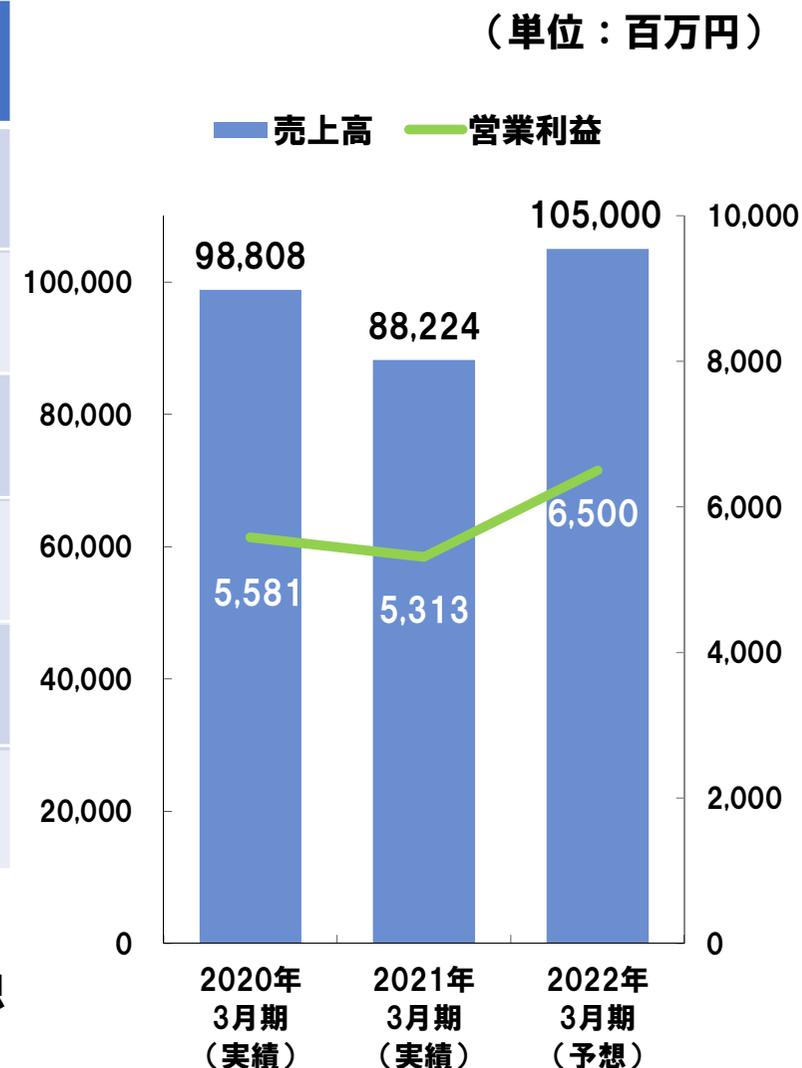
住宅・建築資材コンパウンド売上高

(億円)



2022年3月期 連結業績予想

科目	2021年 3月期実績	2022年 3月期業績予想	伸び率
売上高	88,224	105,000	+19.0%
営業利益	5,313	6,500	+22.3%
経常利益	5,652	6,500	+15.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,234	3,600	+11.3%
1株当たり利益(円)	51.22	57.11	+11.5%
R O S	6.0%	6.2%	—

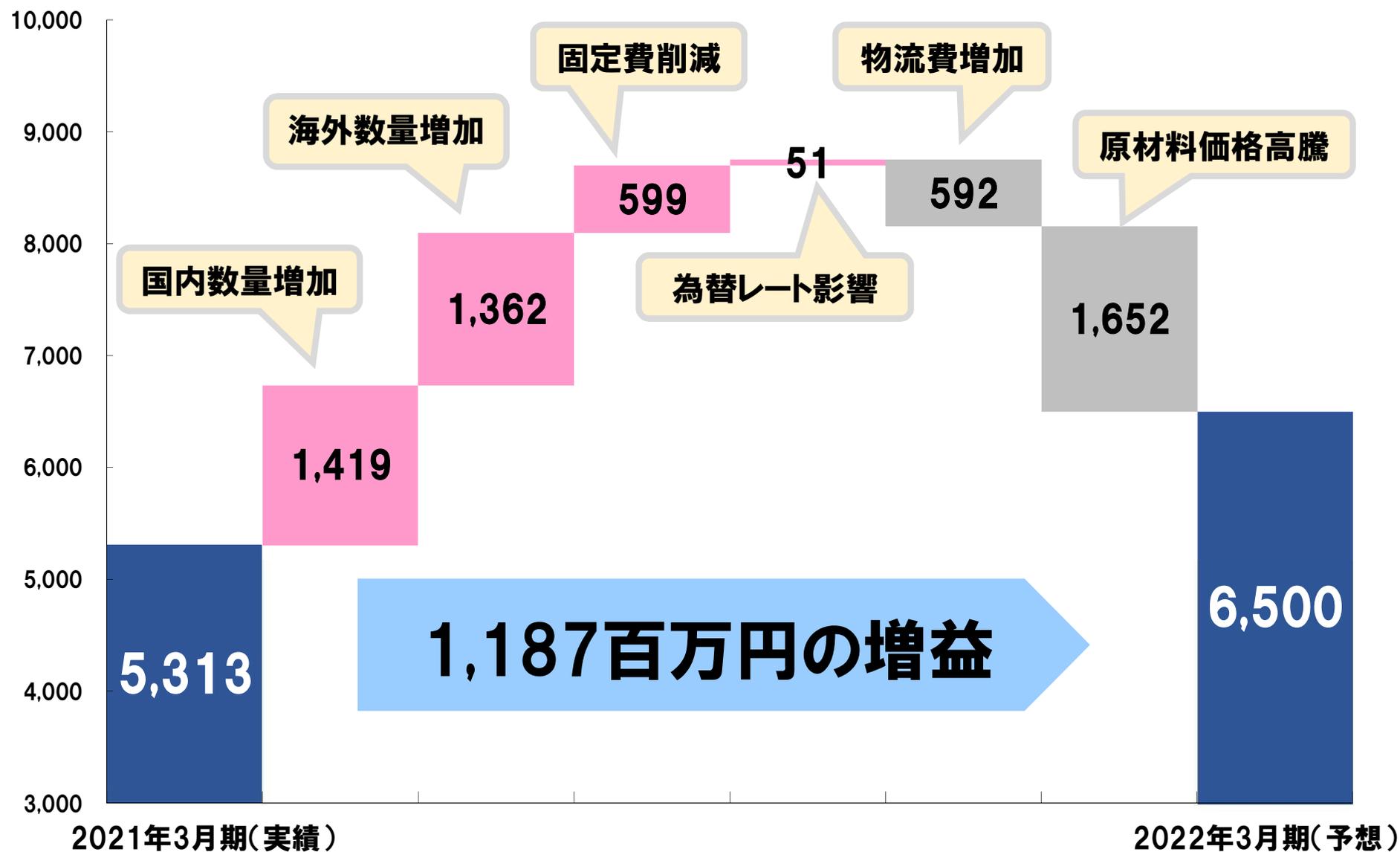


【業績予想のポイント】

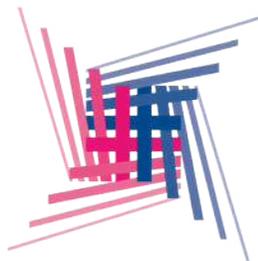
2022年3月期通期業績については、上期における売上高/利益の当初予想比での上振れはあるものの、今後の新型コロナウイルス感染症の拡大/収束の影響及び原油価格高騰による事業への影響等不透明な要素も大きい為、当初予想を変更せず。

2022年3月期（予想） 営業利益 増減要因分析

単位:百万円



3カ年中期経営計画進捗

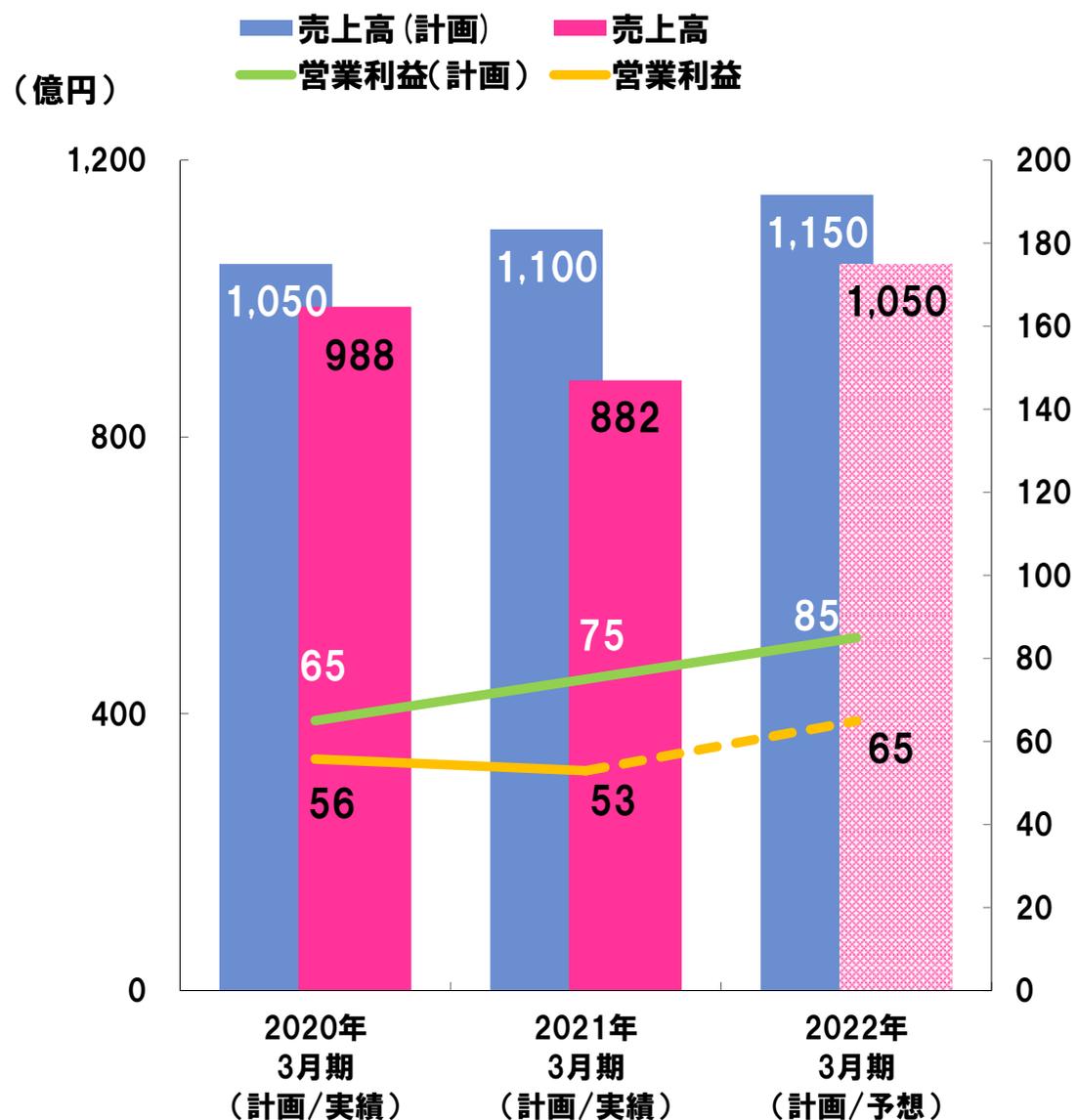


MORE VALUE TO ALL
2 0 2 1



計数計画

連結ベース	2022年3月期 (予想)	2022年3月期 (計画最終年度)
売上高	1,050億円	1,150億円
営業利益	65億円	85億円
経常利益	65億円	85億円
当期純利益	36億円	50億円
ROS	6.2%	7.0%
ROE	6.6%	8.0%



5つの主要課題

1

グローバル経営の深化とシナジー

2

戦略思考による収益力向上

3

効率を極めた生産体制の実現

4

サステナブルな社会への貢献

5

人材育成とガバナンス重視の経営による
企業体質の強化

5つの主要課題

1

グローバル経営の深化とシナジー

海外拠点の経営レベルの深化

グローバルにシナジーを発揮

これまでの実績

- グローバル経営を意識した組織のもと、各部門におけるグローバル運営の強化とコロナ禍における課題への迅速対応
- ASEANコンパウンド事業への注力により、非日系新市場に販売拡大
- ASEAN (タイ・ベトナム) における増設決定
- 自動車窓ガラス用遮熱フィルム「ICE-μ」にかかる事業を譲受

2022年3月期下期 重点施策

- ASEANにおける生産体制最適化の遂行 (タイ・ベトナムでの増設開始)
- アジアにおけるコンパウンド事業戦略の更なる強化
- 海外子会社ガバナンスの高度化に注力



5つの主要課題

2

戦略思考による収益力向上

高付加価値製品の販売強化

これまでの実績

- インфекションコントロール製品 **リケ+ガード** のラインアップ拡充と拡販
- 旭化成よりACS資産譲受と製造の確立
- 管理業務のシェアード推進による経費削減の実現および、子会社システム統合に向けた取り組み開始
- デザイン子会社 (IMI) と協働で新市場へのマーケティング深耕

効率的な利益の向上

2022年3月期下期 重点施策

- ACS樹脂の電材への展開
- シェアードの更なる拡張と子会社システム統合の推進
- リケンファブロ吸収合併によるグループ経営の効率化と開発力/営業力の強化を実現

5つの主要課題

3

効率を極めた生産体制の実現

生産の効率化

これまでの実績

- 生産設備の自動制御導入拡大
- 予兆管理システムの導入拡大
- ユーティリティ設備の見直しによるエネルギーロス削減
- ASEAN 2拠点での生産ライン増設決定
- オンラインを活用したグローバルでの製造プロセスイノベーション創出

グローバルでのもの造り強化

2022年3月期下期 重点施策

- フィルム生産効率化投資の推進
- もの造りスマート化 (DX) 推進
- カーボンニュートラルに向けたCO2削減ロードマップ作成
- ASEAN 2拠点での生産ライン増設開始
- グループ全体での生産性向上による生産コストの削減

5つの主要課題

4

サステナブルな社会への貢献



2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

持続可能な社会を目指し、主要課題に沿ってSDGsへの取組みを強化しております。
新しい取組みについては、トピックスでご紹介します。

- ①グローバル経営の深化とシナジー
- ②戦略思考による収益力向上

12 つくる責任
つかう責任



リサイクルできないゴム製品の
代替となる熱可塑性エラス
トマーを拡販。



食品包材では
食品を衛生的に保ち
余った食品を保存する
などフードロス削減に貢献

- ③効率を極めた
生産体制の実現

6 安全な水とトイレ
を世界中に



化学物質と廃棄物
の適正な管理



- ④サステナブルな
社会への貢献

3 すべての人に
健康と福祉を

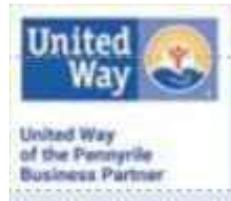


抗菌、抗ウイルス
のリケガード製品
の販売



- ⑤人材育成と
ガバナンス重視
の経営による
企業体質の強化

1 貧困を
なくそう



全主要課題共通のSDGs

17 パートナリシップで
目標を達成しよう



すべての主要課題をステークホルダーの皆さまとの
パートナーシップで解決してまいります。



5つの主要課題

5

人材育成とガバナンス重視の経営による 企業体質の強化

グローバルに活躍できる人材の育成

グループガバナンスの強化

あらゆるステークホルダーに配慮した持続可能な経営の実現

これまでの実績

- 海外ビジネス経験者の経営・管理職への採用
- 海外拠点への若手の抜擢
- 中堅層(課長・係長)の研修制度の見直し
- ガバナンスポリシー制定、連結子会社管理強化
- グループ全体のリスクマネジメントの強化
- 自社株買い(2,800千株)・消却(2,000千株)

2022年3月期下期 重点施策

- 女性・外国人等の中核人材の採用、多様な人材が活躍できる社内環境の整備
- サクセッション・プランに沿った人材の育成
- 連結子会社のガバナンス強化(代表者・幹部社員の教育強化等)
- 改訂CGコードに関する取組みの強化



設備投資

3カ年中期経営計画期間中の設備投資見込み合計: 134億円 (中計計画値: 145億円)

単位: 億円 ※メンテナンスを含む。

年度	主な設備投資	総額	減価償却費	研究開発費
2020年3月期 (実績)	国内エラストマー増設 タイITシステム更新 効率化設備投資	43	38	15
2021年3月期 (実績)	研究開発センター増築 効率化設備投資	44	37	23
2022年3月期 (予測)	タイ新工場/医療用生産設備 増設 研究開発センター試作機導入着手 効率化設備投資	47	33	19

- ・2021年3月期は、研究開発費に研究開発センター増築分を含み、
2022年3月期は、研究開発費に研究開発センター試作機導入着手を含む。
- ・2022年3月期は、ASEAN生産能力拡張投資に着手。

トピックス①

ASEANにおける積極的な設備投資

今後見込まれる旺盛な需要に対応し、2024年3月期第2四半期に本格稼働予定

RIKEN (THAILAND) CO., LTD.



投資金額:約15億円



RIKEN VIETNAM CO., LTD.



投資金額:約15億円



トピックス②

研究開発への設備投資

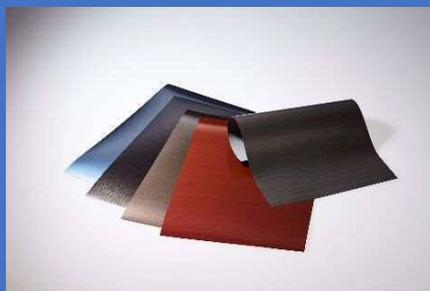
2021年に増築した東京と埼玉の研究開発センター
2拠点において設備投資を実施いたします。

2020年3月期
東京隣接地購入
約2億円

2021年3月期
東京建屋増築完了
約7億円

2022年末までに
研究開発設備導入
約5億円

フィルム製品への研究開発設備
(研究開発センター東京および埼玉)



コンパウンド製品の開発設備
(研究開発センター東京)



トピックス③ Blue Challenge

「Blue Challenge」の推進

リケンテクノスグループでは、サステナブルな社会への貢献についての活動全般を「Blue Challenge」と称し、地球をより豊かにするためにさらに強力に推進してまいります。





エラストマーコンパウンドの空力部品への採用拡大

衝突安全に貢献するシールド部材や燃費向上に貢献する空力部材へのエラストマーコンパウンドの採用が拡大しています。

- 優れた成形性、耐久性、耐寒性、外観の良さが特徴。
- 今後は、北米、ASEANに展開予定。



シールドカバー



エアガイド



スプラッシュシールド

トピックス③-2 Blue Challenge

Blue Challengeレポート2021 発刊

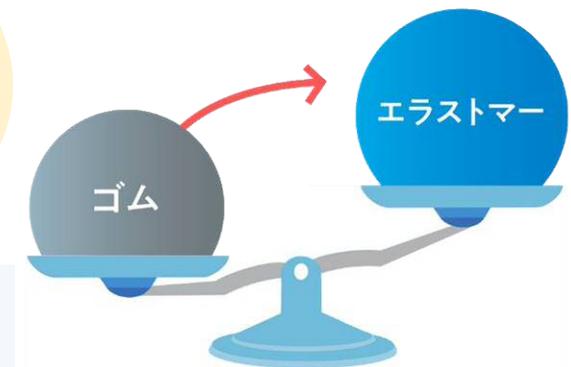


SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

サステナブルな社会への貢献を目指した製品開発を特集
エラストマーと塩ビの優れた点についてご紹介しています。

ゴムより軽い
エラストマーは
軽量化を実現！

ゴムよりも 約20~30%も軽い



トピックス④-1

新機能性エラストマー LEOSTOMER® FT上市

LEOSTOMER® FTは、感温性の素材です。



温度依存性

- ・ 温めると柔らかくなり、冷やすと硬くなるスチレン系TPEです。



低反発性

- ・ ゆっくりと心地よく体にフィットしていきます。



形状保持性

- ・ 使用後も形状を一定の時間、保持します。

使用イメージ



トピックス④-2

リケガード®のコンパウンドが新規に採用されました

リケ+ガード®

リケガード®のコンパウンドがレジのコイン
トレーに採用されました。



三協立山株式会社 タテヤマアドバンス社
「抗ウイルスラクトレー」

株主還元 ～配当金～

配当方針

連結配当性向30%程度を一つの目途とした上で、
今後の事業投資・自己資本の充実等も勘案し、安定的な配当を行う。

(円)

	中間	期末	通期	年間配当性向 (連結)	純資産配当率 (%)
2019年3月期	6.00	8.00	14.00	29.5	1.9
2020年3月期	8.00	8.00	16.00	33.3	2.1
2021年3月期	4.00	12.00	16.00	31.2	1.9
2022年3月期 (期末及び通期は予想)	8.00	10.00	18.00	31.5	-

※2022年3月期については、増益の業績予想を踏まえ、2円増配し、年間配当18円の配当予想

「プライム市場」 選択

＜東京証券取引所の新市場区分の選択＞

- ・選 択 市 場 ： プライム市場
- ・選 択 申 請 日 ： 2021年10月29日
- ・移 行 日 ： 2022年 4月 4日(予定)

今後も多くのご投資家の皆さまから高い支持を得られますよう、より高いガバナンス体制のもとグローバルに事業展開を加速し、ひとつひとつの課題に真摯に向き合い着実に解決していくことで、国内外での事業成長と更なる企業価値向上に努めてまいります。

免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

お問い合わせ先

webmaster@rikentechnos.co.jp

経理部 高見